

## はじめに

この度は京都大学藤子不二雄同好会(京大F同)にお越し下さり、この文集を手にとって頂き、誠にありがとうございます。

今年は藤子・F・不二雄先生の生誕 80 周年ということで数多くのイベントが催されました。藤子・F・不二雄ミュージアムのリニューアルや東京タワーでの『藤子・F・不二雄展』など話題が絶えない 1 年でした。京大F同も関東のイベントに参加するに留まらず、㊤先生のご実家である富山県氷見市やF先生と㊤先生が出会った高岡市を訪れました。この会誌では藤子先生のまだまだ知られていない作品をご紹介するべくキャラクター紹介を、上映会ではドラえもんの他にパーマンやエスパー魔美などの上映を特集しました。また、会誌には特集だけでなく会員の思い思いの藤子愛に満ちた自由投稿や、藤子先生にまつわる同好会合宿の記録も掲載しています。京大F同の熱を感じて頂ければ幸いです。

私たちが藤子作品に掛ける思いは様々ながら、藤子不二雄と藤子作品への愛は本物です。私事となりますが幼い頃からドラえもんに親しんできた私は、藤子ワールドで燦然と輝く未来の技術に興味を惹かれて育ちました。京都大学工学部へ進学して現在はF先生が夢見た未来の 1 ページを形作る力となるよう原子力エネルギーを学んでいます。数多の課題を抱えて生きる私たち現代人が果たして 2112 年のドラえもん誕生までにドラえもん出会えるのか、輝かしい未来へ向けて学習の日々が続きます。

藤子・F・不二雄先生の生誕から 80 年が経ち今や藤子先生の孫世代が社会に進出しつつあります。藤子先生の手から離れて、ひとつの「藤子文化」として成り立っていると言っても過言ではないでしょう。今回の 11 月祭の展示をきっかけに皆様が藤子作品のファンになる、もしくは藤子ワールドを思い出すきっかけになるならば、これに勝る喜びはありません。

会長 岡崎 総一郎